

ピアレビュー委員会（第4部会）

2018年度（対象年度：2017年度）ピアレビュー報告書

評価対象組織	研究組織（D群）
--------	----------

基準 11	大学独自の評価項目
-------	-----------

総評
<p>No.1110 の計画的な研究活動の推進においては、D 群のどの組織も概ね設置目的に沿って活動していることが確認できた。なお、今回の自己点検・評価を各組織の今後の活動に活かすため、現在、年度重点目標を設定して活動している組織においても、「建学の精神・基本理念・使命・教育目的」を意識した目標設定及び点検評価となっているかを再確認していただきたい。</p> <p>No.1120 においては、一部の組織において委員会の開催回数が少ない、議事録が根拠資料とされていない、議事録に出席者（出席率）の記載がないなど、手続き上の不備が散見された。</p> <p>自己点検・評価において、組織の活動を適切な根拠資料に基づいて説明できるよう整備を行うことが望まれる。</p>
長所・特色 <箇条書き>
<p>概ね研究組織の設置目的に沿った年度目標が設定されており、それに対する点検・評価がなされている。（アイソトープセンター、実験動物教育研究センター、天文台、中部高等学術研究所国際 GIS センター）</p>
留意点 <箇条書き>
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p> <p>1120 議事録に必要とされる情報（日時、場所、出席者、議事の要領及び結果など）を正しく記載していただきたい。また、議事録作成の手順（決裁手続き、委員への周知）を正しく進めていただきたい。【A】</p> <p>1120 運営を目的とした委員会においては、少なくとも年3回開催し、目標及び計画の確認、進捗状況の確認、達成状況の確認を行うことが望ましい。【B】</p>

ピアレビュー委員会 (第4部会)

2018年度(対象年度:2017年度)ピアレビュー報告書

評価対象組織	事務組織 (D群)
--------	-----------

基準11	大学独自の評価項目
------	-----------

総評
<p>ピアレビューの結果、D群のどの組織も概ね設置目的や事務分掌に則り業務を進めていることが確認できた。しかし、自己点検・評価シートの記載内容が、「どのような業務を実施したか?」という業務報告中心であり、業務改善に主眼を置いた点検・評価ではない組織が多かった。</p> <p>結果、点検・評価項目のNo.1120「組織における持続的な業務内容の点検」の視点で評価した場合、業務や運営方法の改善・向上の取組みを制度化して、業務改善のサイクルを推進している部署は見受けられず、長所・特色に記載する取組みを確認することはできなかった。</p> <p>各組織においては、「建学の精神・基本理念・使命・教育目的」を意識した目標設定及び点検・評価となっているかを再確認した上で、今後、業務改善サイクルの取組みを意識した活動を期待したい。</p> <p>運営を目的とした委員会活動等においては、最低でも年3回(計画・進捗把握・実績確認)の実施が望まれる。また、議事録には出席者(出席率)を記載することを要件としていただきたい。</p> <p>なお、臨地臨床実習推進部の各組織は学科の活動と密接な関係があり、他の事務組織と同じ視点での評価が困難な点があると思われる。</p>
長所・特色 <箇条書き>
特になし
留意点 <箇条書き>
<p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p>
<p>1120 議事録に必要とされる情報(日時、場所、出席者、議事の要領及び結果など)を正しく記載していただきたい。また、議事録作成の手順(決裁手続き、委員への周知)を正しく進めていただきたい。【A】</p> <p>1120 運営を目的とした委員会においては、少なくとも年3回開催し、目標及び計画の確認、進捗状況の確認、達成状況の確認を行うことが望ましい。【B】</p> <p>1120 各組織において、業務改善サイクルの取組み状況を意識して点検を実施し、業務改善サイクルを確立していただきたい。【B】</p> <p>1120 各組織は、業務改善の持続的な点検に主眼を置いた自己点検・評価シートの記載に努めていただきたい。【B】</p>